

特集

佐世保で子育て



皆さんは、合計特殊出生率という言葉をご存じですか。合計特殊出生率とは、1人の女性が一生に産む子どもの平均数を表す指標です。令和3年度の佐世保市の合計特殊出生率は1.67人と、全国の1.30人よりも高い数値となっています(令和3年人口動態統計)。これにはさまざまな要因が考えられますが、子育て世帯を支援する人々や団体の存在も大きく関わっていると考えられます。

全国的に子育てに関するさまざまな取り組みが行われる中、本市においても子どもを核としたまちづくりを進めていくため、官民が連携して子育て支援の拡充に取り組んでいます。

今回の特集では、本市が行う妊娠期から子育て期にわたる「切れ目ない支援」のうち主な事業の紹介や、子育て世帯を支える人・活動などをお知らせします。

本市の子育てに関する取り組み

子育て世帯に対する支援は多岐にわたります。本市では、国や県と連携するだけでなく、地域で子育て世帯を支援する人々や団体なども協力し、包括的な支援を実施しています。子育て世帯が安心して妊娠・出産・子育てができるために、本市が行う独自の取り組みや、本市が窓口となって行う国や県の取り組みの一部を紹介します。

妊娠期から子育て期にわたる「切れ目ない支援」

妊娠・出産・産後



伴走型支援・出産・子育て応援給付金

妊娠期から出産・子育てにおける相談支援および経済的支援を一体的に行います。

- 出産応援ギフト⇒妊娠届提出時における面談を受けた妊婦を対象に、妊婦1人当たり5万円を支給
- 子育て応援ギフト⇒「こんにちは赤ちゃん訪問」における面談を受けた養育者を対象に、子ども1人当たり5万円を支給

こんにちは赤ちゃん訪問

家庭訪問員などが生後4カ月までの乳児のいる家庭を全て訪問し、子育てを支援します。

マタニティ学級・プレパパ学級



妊婦体操、沐浴実習、妊婦交流会などを行うマタニティ学級と、お父さんが主役となり妊婦体験などを行うプレパパ学級を開催しています。

陣痛タクシー

配偶者の転勤や長期出張等によって孤立した妊婦の安全・安心な出産を目的として、急な陣痛時に産婦人科まで送り届けるタクシーの費用を、本市では一部助成(出産1回につき上限5,000円)しています。

乳幼児期～就学期



地域子育て支援センター

乳幼児の親子などを対象に、交流の場や子育て関連情報の提供、育児相談、育児講座の開催などの支援を行っています。

幼稚園・保育所・認定こども園

就学前の子どもに幼児教育または保育を提供する施設です。3歳児から5歳児までの保育料と、第2子以降の子どもの副食費(おかず代など)は無料で利用できます。また、0歳児から2歳児までの保育料は、国が定める料金より引き下げて設定しており、子育て世帯の経済的負担を軽減しています。

放課後児童クラブ

共働きなどで昼間家庭に保護者がいない小学生を対象に、適切な遊びと生活の場を提供する、児童が安心して楽しく過ごせる場所です。

児童センター・児童交流センター

育成室、図書室、遊戯室があり児童が自由に遊び楽しく過ごせる場所です。児童厚生員という専門の職員がおり、子どもたちへ遊びの指導を行っています。

事業の詳細や、その他の取り組みについて詳しくは「佐世保市子育てポータルサイト」をご覧ください。



市ホームページ
(佐世保市子育てポータルサイト)

子育て世帯に親身に寄り添い、支援する人たち

子育て中の方が抱える悩みは人それぞれであり、子どもの成長と共にその悩みも変わっていきます。そんなとき周りの人に頼ったり、悩みを誰かに相談したりすることで、解決策が見つかることや、不安な気持ちが解消されることがあります。このページでは、そんな子育て中の方の不安を解消し、安心して妊娠・出産・育児ができるよう、日々子育て世帯の支援に取り組んでいる方々にお話を伺いました。

実家で話すような安心感で

誰からの相談もお待ちしてます

ままんち させぼ

母子保健コーディネーター 朝重 美穂 さん
ママサポーター 小泊 靖子 さん

妊娠中から産前・産後ケア、乳幼児期の子育ての不安や悩みを相談できる窓口です。母子保健コーディネーター（助産師等）やママサポーターが電話相談や家庭訪問等を行います。

「ままんち させぼには何回でも相談してほしいです。また、困っていることが解決したと連絡をいただくこともあり、そのようなこともうれしく思っています」と話すのは、中央保健福祉センター4階子ども保健課内「ままんち させぼ」の朝重美穂さんと小泊靖子さんです。

ままんち させぼでは、妊娠中から子育て世帯を対象に、妊娠・出産・育児に関する相談を受け付けたり、お母さんたちの不安に寄り添ったりしています。「最初の出会いを大切に、お母さんたちが孤立しないよう、電話相談の他、困っている方がいないか地域の支援センターや病院などに出向いてお話を聞かせてもらっています」と話す朝重さん。続けて小泊さんが「佐世保は転勤や外国の方が多くに加えて、最近では里帰り出産をしない方が多いんです。そういう方たちが実家で話すような安心感を感じられる場でありたいですね」とままんち させぼについて教えてくれます。

相談内容について尋ねると、朝重さんは「妊娠中の自宅訪問では、お母さんの体調のこと以外にも用意する肌着の枚数とか、ベッドの位置とかも一緒に考えますね」と、小泊さんは「産後は赤ちゃんが泣きやまないとか、ミルクを飲まないとか、どのような小さいことでも相談してほしいです。市内にご家族がいる方でも子育て中は大人と話せない環境になることが多くて、そんなときに頼ってほしいです」と笑顔で話します。

最後に「『ままんち させぼ』という名前ですが、お父さんでもおじいちゃんおばあちゃんでも、どなたからの相談も受け付けています。『産後のお母さんをどうサポートしたらいいかわからない』とお父さんからの相談も実



朝重さん(写真中央)と小泊さん(写真右)、ママサポーターの久野ひろみさん(写真左)

際あって、皆さんと一緒に乗り越える気持ちで相談に乗っています」と小泊さん。また朝重さんからは「周りに頼れる人がいない中、育児をしている方も多いので、妊娠中の方や育児中の方を見掛けたら周りの方や近所の方も気掛けてもらえるとうれしいなと思います。そういう方からの相談もお待ちしています」と、それぞれ力強い言葉を伝えていただきました。(取材日 8月3日)



ままんち させぼ窓口の様子



市ホームページ
(ままんちさせぼ)

ままんち させぼ 利用者の声

- 親身になって話を聞いてくれて、少し話をしただけでも肩の力が抜けて助かりました
- 子育てであまり大人と話す機会もなかったときにとても救われました
- 他県から転勤で来て、何も分からない中で声を掛けてもらえたのは安心感につながりました
- 妊娠中から気に掛けてもらえて、何でも相談しやすい環境が、すごくありがたかったです

問い合わせ 相談専用ダイヤル ☎ 25-9778

気軽に頼れる場所と知り

心の余裕につなげてほしい

ファミリーサポートセンター佐世保

提供会員 津留 優子 さん 向坂 望 さん

ファミリーサポートセンター佐世保では、育児の援助を受けたい人(依頼会員)と育児を援助したい人(提供会員)をつなぎ、地域の子育て環境を整備しています。

「育児で頼れる場所があるということを知ってもらい、保護者の心の余裕につなげてほしいです」と話すのは、花園町にあるファミリーサポートセンター佐世保の提供会員として6年目になる津留優子さんと向坂望さんです。ファミリーサポートセンター佐世保には約2,000人の依頼会員と約200人の提供会員がおり、年間約3,000件の利用があります(令和4年度)。

提供会員は、保護者(依頼会員)が病院や買い物、就職活動などをやる際やリフレッシュしたい時などに子どもを預かったり、病院・保育施設への送迎をしたりする他、育児のサポートなどを行っており、二人は依頼会員を経て提供会員になりました。

提供会員になったきっかけを尋ねると、向坂さんは「子どもの病院で手助けが必要になったことがあり、夜中に翌朝の対応を依頼できないかファミリーサポートセンター佐世保に留守電で相談したところ、翌朝には提供会員さんを見つけていただき、すごく助かったんです。急に誰かの助けが必要になる人は他にもいると思い、提供会員になりました」と、津留さんは「私は依頼会員の時に利用できなかったのですが、声を掛けていただき提供会員になりました。提供会員になって思うことは、依頼会



津留さん(写真左)と向坂さん(写真右)

員の時に気軽に利用したら良かったということです。今、育児でいっぱいになっている保護者さんには、気軽に利用してほしいですね」と、それぞれの思いを話します。

これから利用を考える人に対して、向坂さんは「私は預ける人を見て安心したことから利用につながったので、見学など気軽に来てほしいです」と、津留さんは「地域子育て支援センターなどで子どもを預かることもあります。私たちは名札をしているので、そういうときにも気軽にご相談ください」と笑顔で話していただきました。

(取材日 7月29日)



事務所の遊び場スペースで子どもを預かる津留さん



ファミリーサポート
センター佐世保

三ヶ町・四ヶ町アーケードにある、地域子育て支援センターを動画でみてみゅー！

子育て親子の交流の促進や相談受け付け、情報発信などを行う、アーケードにある2施設を動画で紹介します。

佐世保市子ども発達センター(わいわい広場)

開館日時 月曜～金曜 9時～16時(水曜は17時まで)、
日曜・祝日 10時～16時(年末年始を除く)

場 所 常盤町6番1号

親子ひろば「よんぶらこ」

開館日時 月曜～水曜、金曜、土曜(祝日、年末年始を除く)
10時30分～15時30分

場 所 本島町4-15 3階



市ホームページ
(9月号みてみゅー)

特集に関する問い合わせ 子ども政策課 ☎ 24-1111